オール・マーケット・インカム戦略（愛称：未来ノート）
分配金のお知らせ

2019年3月13日

平素は、『オール・マーケット・インカム戦略（愛称：未来ノート）』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2019年3月12日に決算を迎え、「奇数月定額分配コース」、「奇数月定率分配コース」および「予想分配金提示型コース」につきましては、当期の収益分配金（1万口当たり、税引前。以下同じ。）をそれぞれ以下のとおりと致しましたことをご報告申し上げます。なお資産成長重視コースの初回決算は2019年5月12日（休業日の場合翌営業日）となっております。

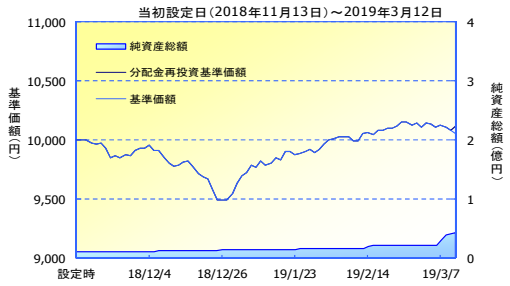
今後ともファンド運用にあたっては、パフォーマンスの向上をめざしてまいりますので、引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

≪各コースの分配金（１万口当たり、税引前）≫

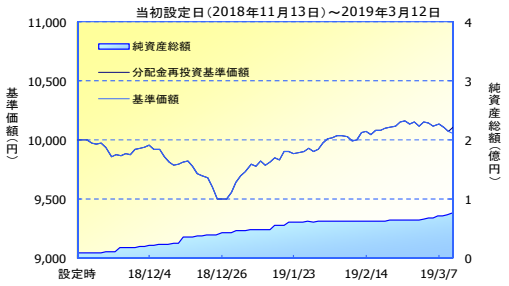
※資産成長重視コースの初回決算は2019年5月12日（休業日の場合翌営業日）となっております。

	奇数月定額分配コース	奇数月定率分配コース	予想分配金提示型コース	資産成長重視コース
当期決算　分配金	60円	50円	0円	ー※
基準価額 2019年3月12日現在	10,056円	10,057円	10,103円	10,104円

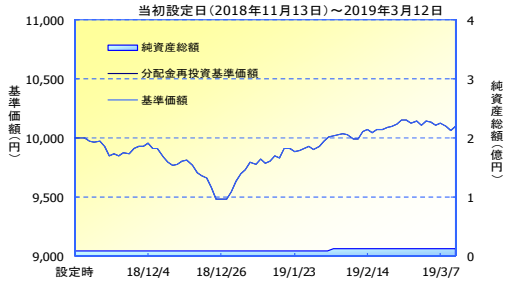
「奇数月定額分配コース」



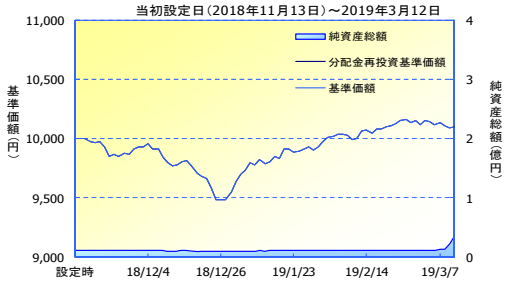
「奇数月定率分配コース」



「予想分配金提示型コース」



「資産成長重視コース」



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
販売会社等についてのお問い合わせ⇒　大和投資信託　フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00）　HP https://www.daiwa-am.co.jp/

大和投資信託
Daiwa Asset Management

分配方針

『オール・マーケット・インカム戦略（愛称：未来ノート）』の収益分配方針は、以下のとおりとなっています。

奇数月定額分配コース
毎年奇数月の各12日（休業日の場合翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。
①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
②原則として、継続的な分配を行うことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
●奇数月に定額分配を行うことをめざします。分配金額は年１回見直しを行います。

奇数月定率分配コース
毎年奇数月の各12日（休業日の場合翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。
①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
②原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
●目標分配率を年3%（各決算時0.5%）程度とし、目標分配率に応じた分配を奇数月に行うことをめざします。
※目標分配率は変更される場合があります。
※各計算期末の前営業日の基準価額に対し、0.5%程度の分配を行うことをめざします。

予想分配金提示型コース
毎月12日（休業日の場合翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。
①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
②原則として、分配対象額の範囲内で、下記に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
●計算期末の前営業日の基準価額の水準に応じ、下記の金額の分配をめざします。
＊基準価額は1万口当たりとし、既払分配金を加算しません。

計算期末の前営業日の基準価額	分配金額
10,100円未満	基準価額の水準等を勘案した分配金額
10,100円以上 10,200円未満	50円
10,200円以上 10,300円未満	100円
10,300円以上 10,400円未満	150円
10,400円以上 10,500円未満	200円
10,500円以上	250円

資産成長重視コース
毎年5月12日および11月12日（休業日の場合翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。
①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
②原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和投資信託）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

≪ファンドマネージャーのコメント≫ ※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

＜設定来の運用状況＞

当ファンドは設定来上昇しました。

2018年11月13日の当ファンドの設定以降年末にかけて、米国株式市場は米国の景気減速懸念の高まりや、米中関係悪化への懸念が広がったこと、パウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長が利上げ継続の姿勢を示したことが嫌気されたことなどから、下落基調となりました。一方、米国の金利は米中関係悪化への懸念などから米国株式市場が大きく下落する中で低下（債券価格は上昇）しました。

このような中、当ファンドでは株式の市場感応度を下げつつ、株式の中では相対的に魅力度が高いと考える新興国株式に一部シフトいたしました。また、原油価格の下落を受けて、コモディティ関連銘柄のウエートを削減いたしました。結果として、株式市場が大きく下げる中、当ファンドはマイナス幅を抑制することができました。

2019年に入り、パウエルFRB議長による市場に配慮した発言を受けて、金融政策への懸念が和らいだことや、米中貿易摩擦について3月初めまでに米中通商協議によって一定の妥結に至るとの期待などから、米国株式市場は堅調に推移しました。年初、米国の金利は低下（債券価格は上昇）したものの、米中通商協議への期待などから米国株式市場が急反発したことに伴い上昇（債券価格は下落）しました。

この間、株式のウエートを若干増加し、特に新興国株式を増やしました。ハイ・イールド債券のウエートを増加させた一方、MLP(ETN（指標連動証券）を通じて投資）についてはウエートを若干減らしました。当ファンドで中心的な役割を果たす株式やハイ・イールド債券などのリスク性資産の多くが上昇し、年初来、設定来共に堅調な実績となっております。なお、ポートフォリオの利回りについては、設定以降5%前後を推移しております。

ポートフォリオについては、大部分が実質的に米ドル建て資産になっており、米ドルに対しては対円で為替ヘッジを行っています。運用戦略として、米ドル以外の通貨に投資はしているものの、為替変動リスクは限定的です。

＜今後の運用方針＞

当戦略では、引き続き、機動的資産配分により基準価額の下落リスクを抑制しつつ、主に高利回り債券や高配当株式などに投資することで、安定した高いインカム収入と元本の成長を狙う方針です。機動的資産配分については、アライアンス・バーンスタイン独自の計量モデルをベースに、マルチアセット部門のみならず債券や株式チームの知見も活用することで、市場環境に応じた運用を行ってまいります。

≪オール・マーケット・インカム・ポートフォリオ（クラスS1D）のポートフォリオ概要≫

※以下のポートフォリオ概要は、アライアンス・バーンスタインの提供するデータを基に大和投資信託が作成したものです。

ポートフォリオ特性値	
ポートフォリオ利回り（%）	4.9
実効デュレーション（年）	3.0

資産別構成	合計100.0%
株式	40.5%
債券	54.6%
非伝統的資産	5.0%

国・地域別構成	合計100.0%
国・地域名	比率
米国	65.0%
英国	3.8%
日本	2.6%
ブラジル	2.1%
カナダ	2.1%
インドネシア	1.6%
フランス	1.5%
スイス	1.3%
オーストラリア	1.3%
その他	18.7%

債券 格付別構成	合計100.0%
格付別	比率
AAA	13.0%
A	2.2%
BBB	14.9%
BB	21.4%
B	19.5%
CCC格以下	1.7%
無格付	10.0%
短期投資	17.4%

資産クラス別構成	合計100.0%
資産	比率
社債及び新興国債券	42.9%
高配当株式	15.5%
低リスク株式	13.8%
優先リート	7.1%
米国債	6.7%
オプション戦略	5.0%
先進国国債（米国債除く）	4.9%
その他株式	3.2%
リート	0.9%

株式：保有上位	合計4.5%
銘柄名	比率
JPMorgan Alerian MLP Index ETN	1.9%
Royal Dutch Shell	0.7%
Microsoft	0.7%
Roche	0.7%
Ladder Capital	0.6%

債券：保有上位	合計4.2%
銘柄名	比率
Brazil Notas do Tesouro Nacl 10.00%, 1/01/21 - 1/01/25	1.4%
Indonesia Treasury Bond 8.25%, 7/15/21	1.1%
Turkey Govt Bond 23.00%, 8/12/20	1.0%
Republic of South Africa Govt Bond 7.75%, 2/28/23	0.5%
Banco Santander 6.75%, 4/25/22	0.3%

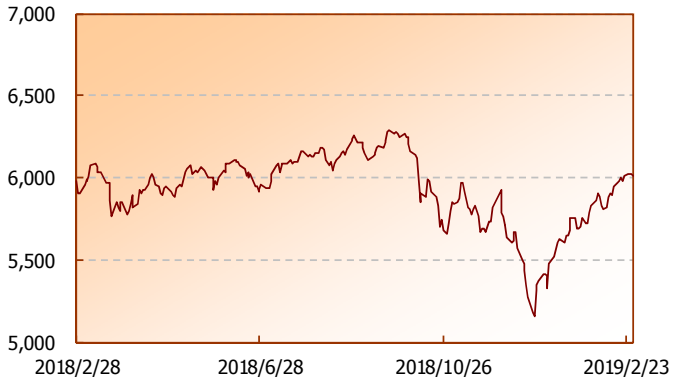
※上記データは、1月末時点（現地）のデータを記載しています。
※比率は投資対象ファンドの純資産から現金等を除いて計算しています。
※格付別構成の比率はポートフォリオ内の債券部分に対するものです。
※格付別構成については、Moody's、S&Pグローバル・レーティング、Fitchの格付けのうち最も高いものを採用し、算出しています。
※ポートフォリオ利回りは当ファンドの投資対象のシェアクラスとポートフォリオ（保有銘柄）が同一である「AB SICAV I オールマーケット・インカム・ポートフォリオ―シェアクラスAMG」のインカム性収益をベースにアライアンス・バーンスタインが計算したものです。
※「資産別構成」において優先リートとリートは株式に含みます。また「株式：保有上位」は優先リートとリートを含みます。
※債券：保有上位においては同一発行体により発行されているクーポンが等しい債券を合算して表示しています。
※比率の合計が四捨五入の関係で一致しない場合があります。

≪参考≫米ドル円ヘッジコストの推移　（2018年2月28日～2019年2月28日）

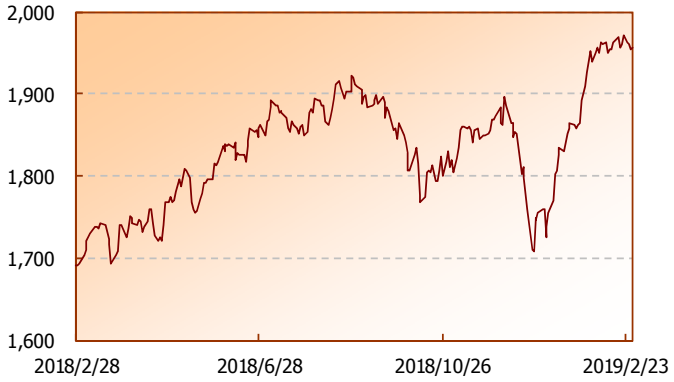
※ファンドにかかる実際のヘッジコストとは異なります。
（出所）ブルームバーグ

≪参考≫市況データ　(2018年2月28日～2019年2月28日)

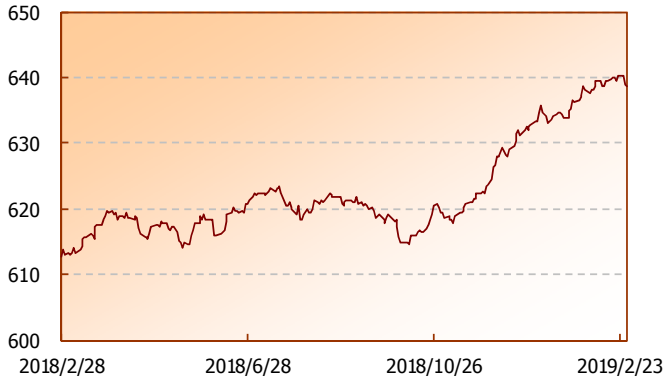
グローバル株式



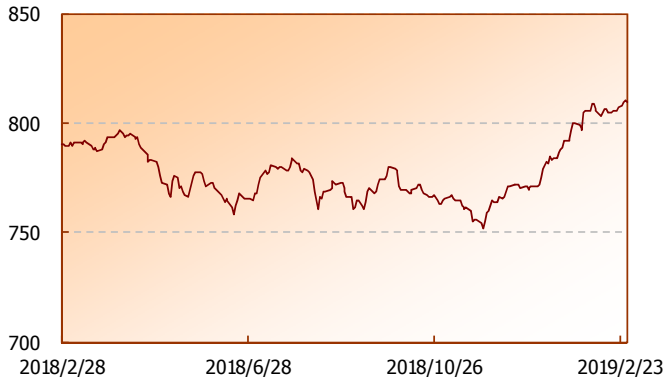
グローバルREIT



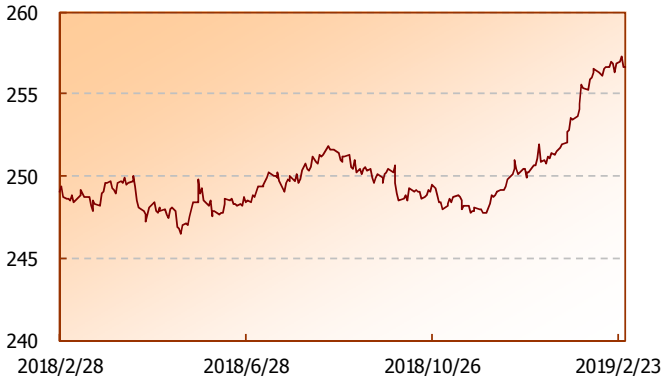
グローバル国債



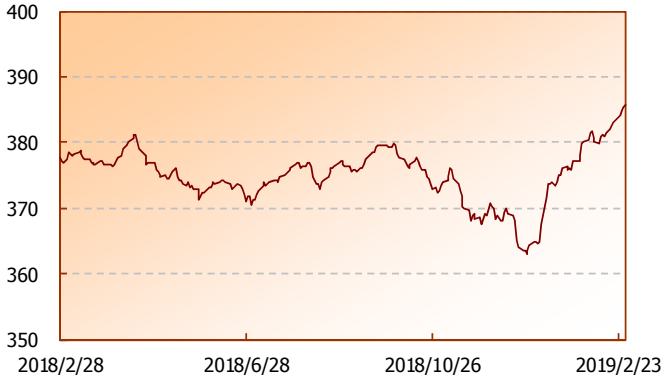
新興国債券



グローバル投資適格社債



グローバル・ハイ・イールド債券



（出所）ブルームバーグ

※グローバル株式はMSCI World Net Total Return USD Index、グローバルREITはFTSE EPRA/NAREIT Developed REIT Total Return Index USD、グローバル国債はBloomberg Barclays Global Treasury Total Return Index Value Hedged USD、新興国債券はJ.P. Morgan EMBI Global Composite、グローバル投資適格社債はBloomberg Barclays Global Aggregate Corporate Total Return Index Hedged USD、グローバル・ハイ・イールド債券はICE BofAML Global High Yield Indexを使用(すべて米ドルベース)。

※記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

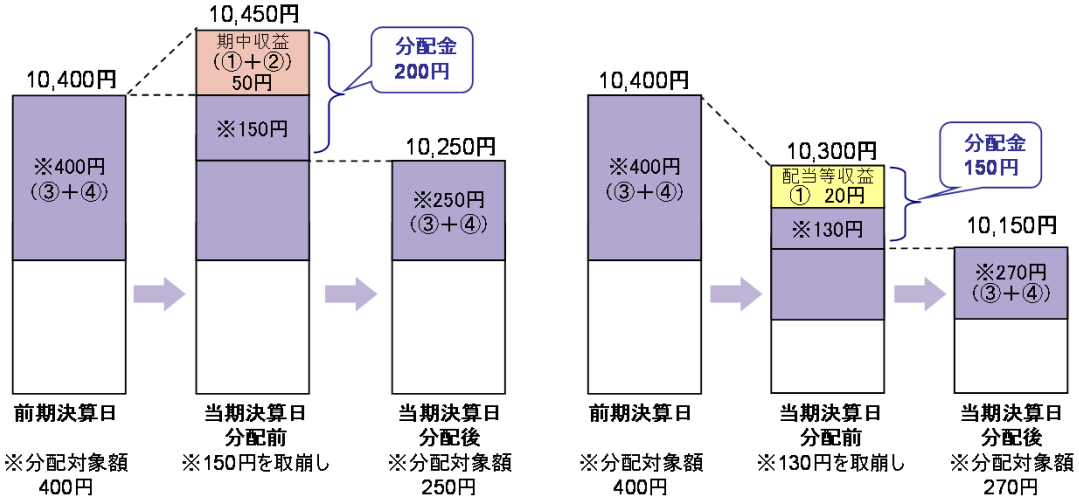
収益分配金に関する留意事項

◆ **分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。**

◆ **分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。**

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

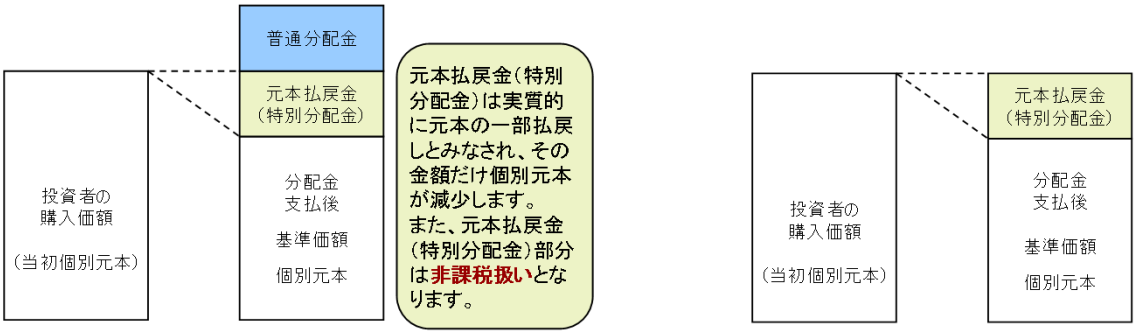
前期決算日から基準価額が上昇した場合　**前期決算日から基準価額が下落した場合**



（注）分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

◆ **投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。**

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合　**分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合**



普通分配金　：個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金（特別分配金）　：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

オール・マーケット・インカム戦略
（資産成長重視コース）／（奇数月定額分配コース）／
（奇数月定率分配コース）／（予想分配金提示型コース）
（愛称：未来ノート）

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

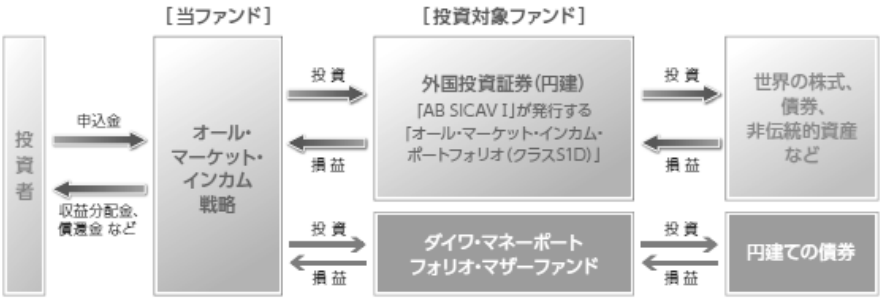
●世界のさまざまな資産に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の株式、債券および非伝統的資産など、さまざまな資産に投資し、安定した高いインカム収入および長期的な資産成長を追求します。
   ◆世界のさまざまな資産に投資します。
   ◆市場の状況に応じてポートフォリオを機動的に調整します。
   ◆米ドル売り／円買いの為替取引を行なうことにより、円に対する米ドルの為替変動リスクの低減をめざします。
   ※ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
   ※米ドル売り／円買いの為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。
   ※投資対象ファンドに米ドル建て以外の資産が含まれていることに起因するリスクがあります。くわしくは「投資リスク」をご参照下さい。
2. 米ドル短期金利＋年５%程度（米ドルベース、諸費用控除前）を長期的な目標リターンとして運用を行ないます。
3. 運用は、アライアンス・バーンスタインが行ないます。
4. 分配方針の異なる４つのコースがあります。
   資産成長重視コース
   ●毎年５月 12 日および 11 月 12 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
   奇数月定額分配コース
   ●毎年奇数月の各 12 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
   奇数月定率分配コース
   ●毎年奇数月の各 12 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
   予想分配金提示型コース
   ●毎月 12 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

販売会社によっては４つのコースのうち、一部のコースのみのお取扱いとなる場合があります。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

5. 当ファンドは、以下の２本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
   外国投資証券を通じて、世界の株式、債券や非伝統的資産など、さまざまな資産に投資します。



◆ 各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
オール・マーケット・インカム戦略（資産成長重視コース）：資産成長重視コース
オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定額分配コース）：奇数月定額分配コース
オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定率分配コース）： 奇数月定率分配コース
オール・マーケット・インカム戦略（予想分配金提示型コース）： 予想分配金提示型コース
◆ 上記の総称を「オール・マーケット・インカム戦略」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

オール・マーケット・インカム戦略
（資産成長重視コース）／（奇数月定額分配コース）／
（奇数月定率分配コース）／（予想分配金提示型コース）
（愛称：未来ノート）

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、公社債の価格変動、その他の価格変動）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」
※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。
※当ファンドは、米ドル売り／円買いの為替取引によって為替変動リスクの低減をめざしますが、投資対象ファンドは運用者の判断によって米ドル以外の通貨（円を含みます）を組入れることもあります。このため、当該米ドル以外の通貨が米ドルに対して下落した場合、基準価額が下落する要因となります。なお、米ドル売り／円買いの為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.24%（税抜3.0%）	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	―
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用（信託報酬）	年率 0.891% （税抜 0.825%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする投資信託証券	最大年率 0.85%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用	最大年率 1.741%（税込）程度	
その他の費用・手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：大和投資信託 Daiwa Asset Management

商号等　大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第352号
加入協会　一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

2019年3月1日　現在

オール・マーケット・インカム戦略（資産成長重視コース）（愛称：未来ノート）　取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順）（金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○	○		
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			

オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定額分配コース）（愛称：未来ノート）　取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順）（金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第43号	○	○		
株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第10号	○			
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○	○		
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号	○			
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			

オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定率分配コース）（愛称：未来ノート）　取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順）（金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第43号	○	○		
株式会社愛媛銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第6号	○			
株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第10号	○			
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○	○		
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			

オール・マーケット・インカム戦略（予想分配金提示型コース）（愛称：未来ノート）　取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順）（金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○	○		
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。